

人づくりの基礎は5S

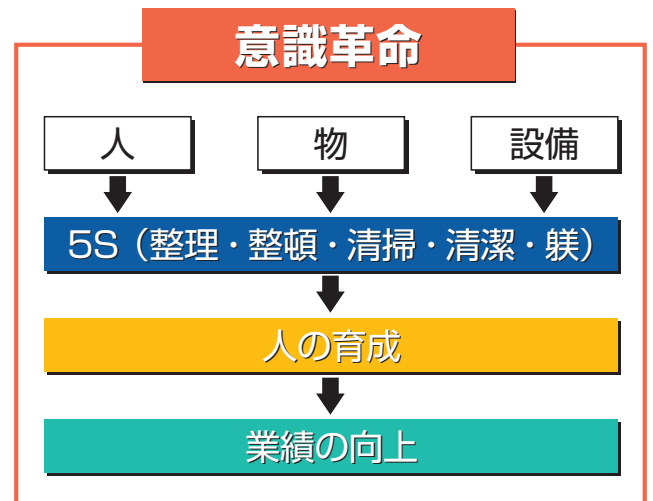
財団法人大阪科学技術センター
ATAC 会員 廣谷倫成

昨今国際経済戦争はますます激化し、製造業ではただ単にコストを下げて製品やサービスを提供するのではなく、品質、納期、技術力、顧客への協力度等の顧客満足の向上を強く求められるようになってきました。このことは、企業のあり方自体が大変革を成し遂げる必要性を示唆したもので、それに対処するためにATACでは、中堅・中小企業の方々への活動の一環として、整理・整頓・清掃・清潔・躰という「5S活動」のコンサルティングを行なっています。

ATACの5S活動に関するコンサルティングは、「5Sチームの結成」、「5S活動計画立案」、「5Sチームによるパトロール」、「問題点の抽出・原因の特定・原因除去の方策立案・実施・評価」という通常の手順を採用はしていますが、次に述べる3つの特色があります。

1. 5S活動の最終目標は業績の向上であるという方向性を明示する。
2. コンサルティングの進め方の基本を「人づくりの基礎は5Sである」ことに置いている。
3. クライアントのご要望や状況を踏まえて、準備段階や実践段階に合わせて、コンサルタントの知識・経験に基づいて問題点を抽出し、その対応策を提案・実施するという進め方とクライアント自身が問題点を見つけ、その発生原因を究明・特定し、対応策を立案・実施するというクライアントの自主性や主体性に重点を置いた取り組み方を併用しながら進める。

顧客への協力度等の顧客満足を達成するためには、仕事に従事する一人一人の行動が重要ですので「躰」に重点を置くこととなります。5S活動の最終の到達点は「業績の向上」にあることを明確にし、そのためには5Sを基礎とした「人づくり」が不可欠となります。ATACでは、社長或いは経



営陣と面談して、この方向性について十分な話し合いを行なったのちにコンサルティングを開始します。

クライアントにとって、5S活動開始を決断した背景には、顧客から指摘された、親会社から要請された、ISO規格の認証取得準備に必要ななど、そのきっかけは様々ですが、5S活動開始に当たって、社長や経営陣がこの方向性を十分に理解して、従業員を全面的に支援することがきわめて重要であると考えています。そのためには、社長、経営陣、関係者に対して、自らの意識革命を訴えることもしばしばあり、そのことが究極的には5S活動⇒人の育成⇒業績の向上という成果を生み出すことになると考えています。

「人の育成」、「業績の向上」という目標に向かって、コンサルティングの原点である現場・現実・現物という三現主義を貫き、今後とも研鑽を積み、微力ながらも中堅・中小企業の方々のお役に立ちたいものと意気に燃えています。